

平成21年4月10日

各位

会 社 名 日本ゼニスパイプ株式会社 代表者名 代表取締役社長 塩 見 昌 紀 (JASDAQ コード番号 5274) 問合せ先 取締役管理本部長 玉 野 博 司 T E L 03(3865)2618 代表

特別損失の発生、業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年7月18日付当社「平成20年5月期決算短信」にて公表いたしました通期の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。 また、特別損失が発生いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成21年5月期通期業績予想数値の修正(平成20年6月1日~平成21年5月31日)

# (1) 連結業績予想数値の修正

(単位:百万円)

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )					
	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	6,800	165	120	40	5.71円
今回修正予想(B)	6,200	100	50	△ 30	△4.28円
増 減 額 (B-A)	△ 600	△ 65	△ 70	△ 70	
増 減 率(%)	△ 8.8%	△ 39.4%	△ 58.3%		
(ご参考)					
前期実績(平成20年5月期)	6,278	$\triangle 237$	△ 282	$\triangle$ 327	△46.74円

# (2) 個別業績予想数値の修正

(単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	6,100	160	120	40	5.71円
今回修正予想(B)	5,500	40	20	△ 50	△7.14円
増 減 額 (B-A)	△ 600	△ 120	△ 100	△ 90	_
増 減 率(%)	△ 9.8%	△ 75.0%	△ 83.3%	_	_
(ご参考)					
前期実績(平成20年5月期)	5,667	△ 281	△ 291	△ 345	△49.33円

## 2. 配当予想の修正について

	1株当たり配当金			
基準日	中間期末	期末	年間	
前回予想	円 銭	円 銭	円銭	
(平成20年7月18日発表)	_	3 00	3 00	
今回修正予想	_	0 00	0 00	
当期実績	_	_	_	
(ご参考)				
前期実績(平成20年5月期)	_	0 00	0 00	

#### 3. 修正の理由

### (1) 個別業績予想数値の修正理由

売上高につきましては、原材料高騰対策として取り組んだ製品価格の値上げ効果があったものの、公 共事業の縮減と景気悪化により需要が一層低迷する中で、特にコンクリート製品の出荷数量が競争激化 のため伸び悩み、当初予想を6億円下回る見込みとなりました。

利益面につきましては、販売価格の是正と製造原価低減努力により本業の収益性は改善しております が、売上高の修正による影響の他、株価下落等による年金資産の運用環境悪化のため、営業利益におい て当初予想から1億20百万円の減少を見込んでおり、同様の理由により経常利益においても1億円の減 少を見込んでおります。

また、特別損失においては株価下落による投資有価証券評価損等の増加要因がありますが、全体では 想定内であり、当期純損益は当初予想より90百万円悪化し、50百万円の損失計上となる見込みでありま す。

#### (2) 連結業績予想数値の修正理由

個別業績予想数値の修正に伴うものでありますが、連結子会社のゼニス建設株式会社が行う工事事業 は、防災関連工事が主体で需要は堅調に推移しており、現時点において売上高は想定内、収益面では当 初予想を上回る見込みであります。従って、連結業績予想における修正幅は個別業績予想の修正幅に比 べ緩やかになっております。

### (3) 配当予想の修正理由

当社は、経営体質の強化と今後の事業展開に備えるため必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様へ 安定した配当を達成・継続していくことを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、上記のとおり通期業績予想を修正した結果、当期純損益において損 失計上の見込みとなったことに伴い、誠に遺憾ではありますが見送りとさせていただきます。

#### 4. 特別損失の発生及びその内容

(1) 連結

連結	単位:百万円)
内	金額
新規設備投資による旧設備の除却の実施	5
得意先の破産等に伴う貸倒引当金の計上	5
「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについての減損処理による投資有価証券評価損	21
「たな卸資産の評価に関する会計基準」適用に伴う評価方法の変更によるたな卸資産評価損	24
計	57

(2) 個別 (単位:百万円)

内容	金額
新規設備投資による旧設備の除却の実施	5
得意先の破産等に伴う貸倒引当金の計上	1
「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについての減損処理による投資有価証券評価損	21
「たな卸資産の評価に関する会計基準」適用に伴う評価方法の変更によるたな卸資産評価損	24
計	52

【注】業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。 実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

> 以 上